

VA公用文シリーズ（統合版）
操作マニュアル

発行日：2026年2月13日

発行：VBA Assets

目次

1 はじめに.....	2
2 インストールの確認.....	2
3 VA公用文の使い方.....	3
4 VA疑似アウトライン.....	5
5 VAスタイル.....	6
6 VA内容証明郵便.....	7
7 VAセキュリティ.....	8
8 VAクリップ.....	9
9 アンインストール.....	10
10 トラブルシューティング.....	10
11 開発者からのお願い.....	10
12 使用許諾・免責事項.....	11

1 はじめに

「VA公用文シリーズ（統合版）」は、裁判所提出書類や公用文の作成を支援するMicrosoft Word用アドインの統合パッケージです。

面倒な書式設定、インデント調整、スタイル管理、セキュリティチェックなどを自動化し、法律実務や公的文書作成の効率を飛躍的に向上させます。

2 インストールの確認

本製品をインストールすると、Wordのリボンに「VA」という名前のタブが追加され、ボタンが配置されます。また、Windowsの場合はクイックアクセスツールバー（画面左上のアイコン群）にも、一部の機能呼び出すためのアイコンが追加されます。



リボンに追加されるボタン



クイックアクセスツールバーに追加されるアイコン

※ Word起動時にセキュリティの警告が表示された場合は、「コンテンツの有効化」をクリックしてください。

3 VA公用文の使い方

～裁判所提出書類などの公用文書式を自動設定～



(1) 機能:

- ア 裁判所提出用書類や一般公用文に合わせたページ設定（右余白の自動調整など）を行います。
- イ マークダウン記法（#などの記号）を使った見出し作成と、Wordアウトライン機能の相互変換を行います。
- ウ インデントの自動設定（「第1」や「1」などのレベルに合わせて文字の開始位置を調整）を行います。
- エ 処理対象外の範囲：最初の見出し段落まで、および見出し段落後の右揃え段落以降は、変換等の処理の対象外となっています。
- オ 行間詰めスタイル：「行間詰め」スタイルの段落は、変換等の処理の対象外となっています。

(2) 使い方:

- ア 「セットアップ」：書式設定画面が開きます。文書の種類を選択して「OK」を押すと、ページ設定やスタイルが適用されます。
 - ・タブ設定の既定値は1文字に変更されます。（「Tab」、「Shift+Tab」、「Ctrl+M」、「Ctrl+Shift+M」の各キーでインデントを手動で変更できます。）
 - ・スタイルギャラリーから公用文作成に使用しないものは削除されます
 - ・リストギャラリーから規定の記号以外は削除されます。
- イ 「マークダウン」：現在のアウトラインをマークダウン記法（テキスト）に変換します。
 - ・インデントは解除されます。
- ウ 「アウトライン」：マークダウン記法をWordの正式なアウトライン（スタイル）に変換し、インデントを整えます。
 - ・セクション区切りがある場合は、見出し番号の振り直しも行われます。
- エ 「ニュートラル」：インデントが解除されたアウトライン（スタイル）に変換します。
- オ 共通の処理：
 - ・インデントの調整や、アウトラインおよびマークダウンの変換処理が行われるのは、「見出し」、「標準」および「リスト段落」スタイルだけです。こ

れ以外のスタイル（「行間詰め」など）が適用された段落は、処理の対象外です。

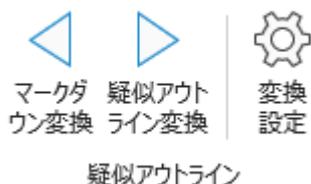
- 表内の段落には、インデント設定・解除時に「行間詰め」スタイルが自動的に適用されます。
- 範囲を選択した状態で「ニュートラル」ボタンをクリックすると、その範囲のインデントと配置を維持したまま、「行間詰め」スタイルを適用できます。
- 最初の見出しまでは処理の対象外になっています。頭書の部分の書式は「標準」スタイルのままでも自動修正が行われません。
- 最初の見出し以降で配置が「右揃え」の段落以降は処理の対象外になります。
- 「行間詰め」スタイル以外の段落の行頭の空白は、インデントに変換されます。
- 見出し番号や箇条書き、段落番号が正常に表示されない場合は、一旦マークダウンに変換するか、セットアップを再度実行してください。

細部仕様については、「VA公用文」のウェブページをご参照ください。

<https://vba-assets.net/official-documents-template/>

4 VA疑似アウトライン

～「複合見出し」や手入力番号の構造化～



(1) 機能:

- ア 手入力された番号（「第1」「1」など）を解析して、アウトラインやスタイルが適用されていない「疑似アウトライン」をマークダウンに変換します。
- イ 反対にマークダウンを「疑似アウトライン」に変換できます。
- ウ 「1(1) ○○は…」のように、同じ行に複数の見出しレベルが存在する「複合見出し」に対応。
- エ 他者が作成した「スタイルが適用されていない文書」を修正する際に役立ちます。
- オ オプション設定:
 - ・「行間詰め」スタイルの段落を対象外とするかどうかを設定できます。
 - ・見出し番号を全角1文字分の幅に調節するかどうかを設定できます。

(2) 使い方:

- ア 「マークダウン変換」：手入力の番号体系を自動判別し、適切な階層構造（マークダウン）へ変換します。
変換されたマークダウンは、「VA公用文」ツールを使って正式なスタイルに変換可能です。
- イ 「疑似アウトライン変換」：手入力の番号体系（疑似アウトライン）へ変換します。「複合見出し」も設定します。
括弧付きの文字列を選択した状態でクリックすると、全角1文字分の文字幅になるように縮小されます。縮小された文字列を選択した状態でクリックすると、縮小が解除されます。
- ウ 「変換設定」：変換時のオプションを選択できます。

細部仕様については、「VA疑似アウトライン」のウェブページをご参照ください。

<https://vba-assets.net/heading-conversion/>

5 VAスタイル

～表題と見出しのスタイルを順次に変更～



(1) 機能:

ア 見出しや表題のフォント（明朝・ゴシック）や段落設定（「次の段落と分離しない」など）をワンクリックで切り替えます。

イ 通常の「太字（Ctrl+B）」では文字送りが崩れる問題を回避し、適切な「ゴシック体」スタイルを適用します。

(2) 使い方:

ア スタイル変更: クリックするたびに、表題 → 見出し1 → 見出し2… と対象が順次切り替わり、スタイルが適用されます。

イ スタイル復元: クリックするたびに、逆方向に変更（復元）できます。

ウ スタイル設定: 変更時に適用するスタイルを設定できます。

エ 範囲選択時の動作:

範囲を選択してから「スタイル変更」をクリックすると、フォントがゴシック体に変更されます。もう一度クリックするともとに戻ります。

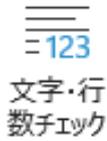
範囲を選択してから「スタイル復元」をクリックすると、フォントに傍点が追加されます。もう一度クリックするともとに戻ります。

(3) 細部仕様については、「VAスタイル」のウェブページをご参照ください。

<https://vba-assets.net/configy-style/>

6 VA内容証明郵便

～内容証明郵便の字数等をチェック～



VA内容証明郵便

(1) 機能:

- ア 日本郵便が定める「内容証明郵便」の規定（1行20字以内、1枚26行以内など）に適合しているかチェックします。
- イ 半角文字の使用などによる意図しない字数オーバーを検出します。

(2) 使い方:

- ア 文書作成後、「文字・行数チェック」をクリックします。
- イ 規定を超えている行がある場合、その行が選択された状態で停止し、警告を表示します。
- ウ 問題がなければ「チェック完了」のメッセージが表示されます。

(3) 細部仕様については、「VA内容証明郵便」のウェブページをご参照ください。

<https://vba-assets.net/content-certified-mail/>

7 VAセキュリティ

～変更履歴やコメントを完全削除～



VAセキュリティ

(1) 機能:

- ア 文書内に残っている「変更履歴」「コメント」「蛍光ペン」「個人情報（作成者名など）」を一括で削除します。
- イ 外部（相手方や裁判所）へWordファイルを提出する前の「クリーニング」として使用します。

(2) 使い方:

注意：この操作は元に戻せません。必ず保存してから実行してください。

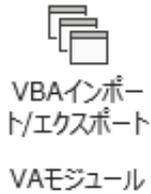
- ア 提出前の最終稿を開きます。
- イ 「情報削除」をクリックします。
- ウ 確認メッセージで「はい」を選択すると、全てのメタデータと注釈が削除されます。

(3) 細部仕様については、「VAセキュリティ」のウェブページをご参照ください。

<https://vba-assets.net/sanitize-document-completely/>

8 VAクリップ

～VBA開発者向けツール～



(1) 機能:

ア Word/Excelに含まれるすべてのVBAモジュール（標準モジュール、クラス、フォーム）を一括でテキストファイルとして書き出します（エクスポート）。

イ 逆に、一括で取り込む（インポート）ことも可能です。

ウ ChatGPTなどのAIにコードを読ませる際や、バージョンのバックアップ管理に最適です。

(2) 使い方:

ア VBAインポート/エクスポートボタンを押すと、インポートとエクスポートの選択メニューが表示されます。

イ VBE表示からでも、プロシージャを直接実行することで、インポートやエクスポートができます。

(3) 細部仕様については、「VAモジュール」のウェブページをご参照ください。

<https://vba-assets.net/export-vba-code-to-a-single-file/>

9 アンインストール

本ソフトウェアが不要になった場合は、以下の手順で削除してください。Wordファイル自体は消えません。

すべてのWordファイルを閉じ、Wordを終了します。

Windowsの「スタートボタン」をクリックし、「設定（歯車アイコン）」を開きます。

「アプリ」（または「アプリと機能」）をクリックします。

アプリの一覧から「VA公用文シリーズ（統合版）」を探してクリックします。

「アンインストール」ボタンをクリックし、画面の指示に従ってください。

10 トラブルシューティング

Q. ボタンを押しても反応しない、またはセキュリティ警告が出る。

A. 本インストーラーを使用した場合は自動的にブロック解除されていますが、Wordのセキュリティ設定によってはマクロが無効化されることがあります。「トラストセンター」の設定を確認してください。

Q. アンインストールしたい。

A. Windowsの「設定」→「アプリ」→「インストールされているアプリ」から「VA公用文シリーズ（統合版）」を選択し、アンインストールしてください。

11 開発者からのお願い

不具合報告やご要望につきましては、以下のURLのコメント欄等にてお待ちしております。

■ 公式サイト（コメント欄）

<https://vba-assets.net/va-official-document-series-integrated-edition/#comments>

12 使用許諾・免責事項

(1) 使用許諾・禁止事項

- ア 営利目的の販売・再配布の禁止 本ソフトウェア（インストーラーおよび含まれるすべてのアドインファイル）を、開発者の許可なく第三者へ有償で販売、貸与することを固く禁じます。
- イ インターネット上での再配布禁止 本ソフトウェアを、不特定多数がアクセス可能なインターネット上のサーバーやアップローダー等に公開し、再配布することを禁じます。
- ウ 組織内共有および業務利用 本ソフトウェアは、個人の利用に限らず、企業や団体などの組織内業務で利用可能です。また、組織内での共有や知人への譲渡は問題ありませんが、その際は必ず本マニュアルを添付し、本ソフトウェアが無料であることを伝えてください。
- エ 改変版の配布禁止 本ソフトウェアの一部または全部を改変し、それを「VA 公用文シリーズ」または類似の名称を用いて配布することを禁じます。

(2) 免責事項

- ア 本ソフトウェアは、現状有姿（As-Is）で提供されます。開発者は、本ソフトウェアの動作、特定目的への適合性、およびバグがないことを保証しません。
- イ 本ソフトウェアの使用によって生じた、いかなる損害（データの消失、業務の中断、利益の損失などを含むがこれらに限定されない）についても、開発者は一切の責任を負いません。ご自身の責任においてご利用ください。
- ウ 本ソフトウェアの仕様は、予告なく変更される場合があります。

■著作権・サポート

Copyright (C) 2020-2026 VBA Assets

<https://vba-assets.net/>